

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 6 月 26 日 (2014.6.26)

【公開番号】特開 2012-253543 (P2012-253543A)

【公開日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2012-054

【出願番号】特願 2011-124199 (P2011-124199)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/66 (2006.01)

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/66 D

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

G 0 9 G 5/38 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 X

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 5 5 0 X

G 0 9 G 5/36 5 3 0 Y

G 0 6 F 3/048 6 5 1 C

G 0 6 F 3/048 6 5 5 B

G 0 9 G 5/00 5 3 0 H

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 9 日 (2014.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

入力画像を表示する表示装置であって、
前記入力画像を表示する表示手段と、
前記表示手段により表示されている第 1 の入力画像に対して、維持領域を指定する指示手段と、

表示中の前記第 1 の入力画像を記憶する画像記憶手段と、
前記画像記憶手段に記憶された前記前記第 1 の入力画像から前記指示手段により指定された前記維持領域を抽出し、抽出した前記維持領域を前記第 1 の入力画像より後に入力された第 2 の入力画像に重畳して重畳画像を生成する重畳処理手段と、

前記重畳処理手段により生成された前記重畳画像を前記表示手段により表示させる表示制御手段と、

を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記重畳処理手段は、前記画像記憶手段に記憶された前記第 1 の入力画像から抽出した

前記維持領域を、前記指示手段により指定されたときと同じ位置に配置して、前記第 2 の入力画像に重畳することを特徴とする請求項 1 記載の表示装置。

【請求項 3】

前記画像記憶手段に記憶された前記第 1 の入力画像毎に、前記指示手段により指定された前記維持領域の位置を示す維持領域情報を記憶する維持領域情報記憶手段を備え、

前記重畳処理手段は、前記維持領域情報記憶手段に記憶された前記維持領域情報に基づいて、前記画像記憶手段に記憶された前記第 1 の入力画像から前記維持領域を抽出することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の表示装置。

【請求項 4】

前記指示手段は、前記表示手段により前記重畳画像の表示中に、前記維持領域の位置変更を指示可能に構成され、

前記重畳処理手段は、前記指示手段により前記維持領域の位置変更が指示された場合に、前記指示手段の指示に従って前記維持領域の位置を変更して新たに前記重畳画像を生成することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 5】

前記画像記憶手段は複数の前記第 1 の入力画像を記憶可能に構成され、

前記重畳処理手段は、前記画像記憶手段に記憶された複数の前記第 1 の入力画像から、前記指示手段により指定された前記維持領域をそれぞれ抽出し、抽出した複数の前記維持領域を前記入力画像に重畳して前記重畳画像を生成することを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれかに記載の表示装置。

【請求項 6】

前記重畳処理手段は、前記画像記憶手段に記憶された複数の前記第 1 の入力画像から抽出した複数の前記維持領域を、互いに重ならないように配置して前記第 2 の入力画像に重畳して、前記重畳画像を生成することを特徴とする請求項 5 記載の表示装置。

【請求項 7】

入力画像を表示する表示装置の制御方法であって、

表示中の第 1 の入力画像に対して、維持領域が指定された場合に、表示中の前記第 1 の入力画像を記憶し、

記憶した前記第 1 の入力画像から前記維持領域を抽出し、抽出した前記維持領域を前記第 1 の入力画像より後に入力された第 2 の入力画像に重畳して重畳画像を生成し、

生成した前記重畳画像を前記表示手段により表示すること、

を特徴とする表示装置の制御方法。

【請求項 8】

入力画像を表示する表示装置を制御するコンピューターが実行可能なプログラムであって、

前記コンピューターを

表示中の第 1 の入力画像に対して、維持領域が指定された場合に、表示中の前記第 1 の入力画像を画像記憶手段に記憶させ、前記画像記憶手段に記憶された前記第 1 の入力画像から前記指示手段により指定された前記維持領域を抽出し、抽出した前記維持領域を前記第 1 の入力画像より後に入力された第 2 の入力画像に重畳して重畳画像を生成する重畳処理手段と、

前記重畳処理手段により生成された前記重畳画像を前記表示手段により表示させる表示制御手段と、

して機能させることを特徴とするプログラム。